



## 皆さんと、「世界に誇れる“尾道”」を創っていきます。



**明**けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本市行政に対し温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年の本市は、全国で唯一、2年連続で日本遺産に認定されるとともに、瀬戸内しまなみ海道での国際サイクリング大会開催など、本市の認知度が国内外でさらに高まり、多くの観光客に訪れていただきました。地域ブランド調査の「魅力度ランキング」においても、中四国地方の都市では第1位となる高い評価を受けました。

また、台湾の学生との国際交流や英語教育の充実により、グローバル社会に適応できる資質・能力を持つ子どもの育成を図るとともに、病児・病後児保育室の開所や乳幼児等医療費の支援拡大など、本市の未来を担う子どもたちが健やかに育つまちの実現に取り組んでまいりました。こうした市民の皆様とともに進めるまちづくりが実を結び、確かな歩みを感じられる一年であったと思います。

さらなる飛躍が期待される本年は、JR西日本の豪華寝台列車トワイライトエクスプレス「瑞風」が尾道駅に停車するなど、活力ある未来へ向けた追い風が続きます。この風に乗って、これからも尾道が大きく発展していくために、国内はもとより、世界に向けても情報発信し、尾道創生を目指して全身全霊で取り組んでまいります。さらに、尾道市因島総合福祉保健センターや東生口公民館の建設を予定しており、市民の皆様の健康増進や地域コミュニティの充実・強化に取り組んでまいります。

新年度からは、今後10年間のまちづくりの指針となる新たな総合計画がスタートします。生きがいとやすらぎを感じ、日常生活の安全が確保された安全・安心で快適に住み続けられるまちづくりや尾道らしい、尾道だからこそできる独創的なまちづくりを展開し、市民の皆様が誇れるまちの実現を目指してまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年一年が、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

尾道市長

平谷 祐宏







## 議会一丸となって、身近で開かれた議会の 実現に取り組んでいきます。

**新**年明けましておめでとうございます。  
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会の各般にわたる活動に対しまして、格別のご理解やご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に熊本地震、10月には鳥取県中部地震が発生し、各地に甚大な被害をもたらし、本市においても6月の豪雨災害では多くの方が被害に遭われております。被災された方々には、改めてお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、尾道市では、平成27年10月、人口減少に歯止めをかけ、地域全体の更なる活性化を目指して「尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたが、今後の財政運営見通しでは、平成32年度までに約19.5億円の財源不足を見込むなど、依然として厳しい財政状況にあります。今後も、行財政の効率的運営を求め、効果的な施策を講ずるなど、議会の果たすべき使命と役割は更に重要性を増しています。

市議会においては、平成23年度から議会改革特別委員会を設置し、身近で開かれた議会の実現に取り組んでおります。主に、議会の仕組みや日常の議員活動をご理解いただくため、昨秋からスタートした議会報告会を本年はさらに身近な議会に資するよう取り組むとともに、日頃から皆様が疑問に思っておられることに丁寧にお答えして、市議会の改革・活性化に鋭意取り組む所存です。

市民の皆様のご意見、ご要望を真摯に受け止め、今後も市政に反映させてまいりますので、本年もご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



尾道市議会議長  
高本 訓司

